

PPP/PFI地域プラットフォームの取組について④

地域プラットフォーム形成支援事業の結果（総括）

■ どの地域でも参加者の意識が変化

<アンケート結果>

- 今後もプラットフォームに参加したい（神戸市：91%）
- PPP/PFIが身近に感じるようになった（岡山市：83%）
- PPP/PFIに参加したい（習志野市：54%）

○ 活動が進むにつれ、PPP/PFIや大手事業者等に対する印象も好転

○ 次の展開として、個別の官民対話手法（サウンディング）や民間提案を求める声も

■ 成 果

➤ 具体的なPPP/PFI案件を産み出す見通し

➤ 内閣府支援終了後も各地域で地域プラットフォームの取組が継続

■ 地域企業が抱えている具体的な不安が明確に

「大手ゼネコンに仕事を取られてしまうのでは」

「PPP/PFIを進めたくても自ら何をしてよいかわからない」

「そもそもPPP/PFIが全くわからない」

PPP/PFI地域プラットフォームの取組について⑤

地域PFの形成

地域PFの運営

課題	対応策	施策	
		2015年度	2016年度
<p>地域プラットフォームの意義が理解されていない</p> <p>※ ブロックレベルの地域プラットフォームに参画する地方公共団体の数【目標：181(2018年度)】</p> <p>※ 地域プラットフォームの形成数【目標：47(2018年度)】</p>	<p>PPP/PFI事業や地域プラットフォームの優良事例を横展開する</p> <p>地域プラットフォームの整備方法や実施内容に関するノウハウ提供</p>	<p>■ ブロックレベルの地域プラットフォームを開催</p> <p>各ブロックでの開催回数を増やし、参加公共団体数(153)の増加を目指す</p> <p>■ 地域プラットフォームの取組の実例等を取り纏めた「運用マニュアル」を作成</p>	
<p>持続的な活動として定着させることが必要</p>	<p>活動の初年度より、案件形成に繋げていく長期的な視点から継続的な運営体制を作る</p>	<p>■ PPP/PFI専門家派遣制度の運用</p> <p>地域プラットフォームの実践ノウハウに詳しい専門家を派遣</p>	
<p>単なる勉強会に留まらず、案件形成に繋がる取組をしていくことが重要</p>	<p>地域プラットフォームを民間提案の場として機能させる</p>	<p>■ 地域プラットフォーム形成支援事業</p> <p>計画策定に当たって継続的な運営を前提とした支援を実施</p> <p>■ 民間提案等を促進するモデル的な取組を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地方公共団体が整備しようとする公共施設のリスト(ロングリスト・ショートリスト)の提供等を推進 <p>■ 具体の案件形成に向けて効果のあった取組みを「運用マニュアル」に反映</p>	

※ PPP/PFI事業が形成された地域プラットフォームの数【目標：-】※モニタリング指標：2018年度中を目途に数値目標をKPIとして設定する